

代表樹種 ハクモクレン



〔撮影場所;小倉北区下到津〕

モクレン科 ハクモクレン（白木蓮）＜別名//ハクレン＞ 落葉広葉高木 樹高10～15m

コブシに似た大きな花は新芽が出る前に咲く。白く清楚でコブシに比べ花自体に迫力がある。

北九州市の街路樹としてのハクモクレンはまだ少なく、樹齢も若い。

（個人の庭木として植えられる人気は高く立派な樹形のものが方々にある。）

葉は大きな丸い形で、秋には黄葉する。



一つ一つの花はコブシに比べ大きく艶やかである。
開花後の寿命は長くなく1週間もすれば殆どが散ってしまう。
通常はコブシに先立って開花するが、北九州市ぐらいの広さになると場所、環境によって開花時期は様々である。



若木なので花数が少ないが、大木になると樹木全体に花がびっしりとつく。

街路樹としての代表的路線

小倉北区 県道堅町到津線

小倉南区 中貫弥生が丘1号線